



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2325		
科目名	スポーツ観察演習Ⅳ		
担当教員	松尾 絵梨子		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	金 3		
講義室	1205	単位区分	選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F〔探究力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 E1 学識と専門技能（20%） F1 探究と論拠（20%） F2 課題解決（20%） G1 状況把握（40%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	スポーツ観察演習Ⅰ～Ⅲの学習内容を踏まえて、全体のまとめを行います。自身の専門種目を対象として競技会運営やスペクテータースポーツとしての問題点を取り出し、それに対する提言をまとめることを目的とします。それらについて、本学部所定のスポーツ観察演習報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、スポーツ観察に役立つ能力を養います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード： スペクテータースポーツ、管理・運営・安全対策、観客動員		
授業の趣旨	■副題 社会人またはプロフェッショナルスポーツの試合観察を通して、自身の専門種目を対象に大観衆の下で行われるスポーツの在り方について学びます。 ■授業の目的 大観衆の下で行われるスポーツの観点から自身の専門種目の大会運営を分析し、問題点を抽出するとともにその解決策について説明できることを目的とします。 ■授業のポイント 自身の専門種目におけるアマチュアスポーツと社会人またはプロフェッショナルスポーツの事前調査と試合の観察を行い、スポーツ観察演習報告書の作成、個人またはグループワークでの発表を行います。		

総合到達目標	■自身の専門種目において選手やコーチが最高のパフォーマンスを発揮するための試合運営について分析し実践する能力を養うために、試合観察を通してプロフェッショナルスポーツとアマチュアスポーツを比較しスペクテータースポーツとしての試合運営上の問題点を認識する。また、その問題点に対してスペクテータースポーツの観点から課題を分析し解決方法について考察できるようになる。 ・プロフェッショナルスポーツとアマチュアスポーツにおける試合の管理・運営・安全対策の特徴と観察するテーマを列挙し、比較することができる。（1～10回目） ・実際に観察する種目の試合の管理・運営・安全対策について、スペクテータースポーツの観点に基づき調査することができる。（1～6回目） ・発表を通して自身の専門種目におけるスペクテータースポーツとしての試合運営上の問題点について、他者と議論することができる。（11～13回目） ・自身の専門種目の試合運営上の問題点をスペクテータースポーツの観点から分析し、その問題点に対する実践的な課題解決方法を考察できる。（7～10回目、14、15回目）	
成績評価方法	■レポート（20％）：適用ルーブリック E1・F1・F2・G1 （評価の観点）授業の内容を踏まえて、自身の考えを詳細に記述できているかを評価します。 （フィードバック方法）授業内レポートを実施した次の週に解説を行います。 ■事前調査書（20％）：適用ルーブリック E1・F1・G1 （評価の観点）調査した内容を詳細に記述できているかどうかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■スポーツ観察演習報告書（15％）：適用ルーブリック F1・F2・G1 （評価の観点）観察した状況を詳細に記述し、分析できているかどうかを評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■リアクションペーパー（20％）：適用ルーブリック E1・F1・G1 （評価の観点）授業や他者の発表を受けて、要点を具体的に記述できているかどうかによって評価します。 （フィードバック方法）リアクションペーパー回収後に確認し、次回授業時に行います。 ■プレゼンテーション（25％）：適用ルーブリック F1・G1 （評価の観点）自身もしくはグループによる発表の内容について評価を行います。 （フィードバックの方法）各自の発表後に講評を行います。	
履修条件	スポーツ観察演習Ⅰ（SSCS1311）、スポーツ観察演習Ⅱ（SSCS1312）、スポーツ観察演習Ⅲ（SCS2324）を履修していることが条件です。履修定員は50名です。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や成績の評価方法等について説明し、授業の準備を行えるようにする（G1）。 ③予習（120分） シラバスをよく読み、興味のあるスポーツ種目について調べておく。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の学習計画と履修計画に基づき検討しておく。
	2	①授業テーマ スポーツ観察の事前学習1 ②授業概要 実際に観察するアマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツの試合日程や観察日について検討する。また、当該種目の連盟や協会、団体に関する情報収集を行うことができる（E1,F1,G1）。 ③予習（60分） 自身の専門種目におけるアマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツについて調べておく。 ④復習（180分） 当該種目の連盟や協会、団体に関する情報について整理するとともに、自身の観察する試合日程を再検討しておく。
	3	①授業テーマ スポーツ観察の事前学習2 ②授業概要 実際に観察するアマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツの試合日程や観察日について、再度検討する。また、当該種目の連盟や協会、団体に関する情報収集を行うことができる（E1,F1,G1）。

	③予習（120分） 当該種目の連盟や協会、団体に関する情報について、事前調査書に記載しておく。 ④復習（120分） 当該種目の連盟や協会、団体に関する情報について整理しておく。
4	①授業テーマ スポーツ観察の事前学習 3 ②授業概要 スポーツ観察演習報告書の記載方法について学習するとともに、実際の観察時の要点について情報収集しアマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツとを比較、検討することができる（E 1, F 1, G 1）。 ③予習（180分） 当該種目の連盟や協会、団体に関する情報について、事前調査書に記載しておく。 ④復習（60分） 実際の観察時の要点について整理するとともに、自身の観察する試合の日程を再確認しておく。
5	①授業テーマ スポーツ観察 1 ②授業概要 試合観察時の要点に基づき、アマチュアスポーツと社会人またはプロフェッショナルスポーツの試合を実際に観察する（G 1）。 ③予習（60分） 試合観察時の要点について確認しておく。 ④復習（180分） 実際のスポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書に記述し、まとめておく。
6	①授業テーマ スポーツ観察 2 ②授業概要 試合観察時の要点に基づき、アマチュアスポーツと社会人またはプロフェッショナルスポーツの試合を実際に観察する（G 1）。 ③予習（60分） 試合観察時の要点について確認しておく。 ④復習（180分） 実際のスポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書に記述し、まとめておく。
7	①授業テーマ 発表準備 1 ②授業概要 事前調査とスポーツ観察で学習した知識に基づき、アマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツの特性を捉えながらスペクテータースポーツとしての観点から比較、分析し発表準備を行うことができる（F 1, F 2, G 1）。 ③予習（60分） 事前調査を見直すとともに、スポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書にまとめておく。 ④復習（180分） 発表準備の進捗状況を把握し、発表内容を整理しておく。
8	①授業テーマ 発表準備 2 ②授業概要 事前調査とスポーツ観察で学習した知識に基づき、アマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツの特性を捉えながらスペクテータースポーツとしての観点から比較、分析し発表準備を行うことができる（F 1, F 2, G 1）。 ③予習（60分） 事前調査を見直すとともに、スポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書にまとめておく。 ④復習（180分） 発表準備の進捗状況を把握し、発表内容を整理しておく。
9	①授業テーマ 発表準備 3 ②授業概要 事前調査とスポーツ観察で学習した知識に基づき、アマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツの特性を捉えながらスペクテータースポーツとしての観点から比較、分析し発表準備を行うことができる（F 1, F 2, G 1）。 ③予習（60分）

	事前調査を見直すとともに、スポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書にまとめておく。 ④復習（180分） 発表準備の進捗状況を把握し、発表内容を整理しておく。
10	①授業テーマ 発表準備 4 ②授業概要 事前調査とスポーツ観察で学習した知識に基づき、アマチュアスポーツとプロフェッショナルスポーツの特性を捉えながらスペクテータースポーツとしての観点から比較、分析し発表準備を行うことができる（F 1, F 2, G 1）。 ③予習（60分） 事前調査を見直すとともに、スポーツ観察で得た知識をスポーツ観察演習報告書にまとめておく。 ④復習（180分） 発表準備の進捗状況を把握し、発表内容を整理しておく。
11	①授業テーマ 発表 1 ②授業概要 スポーツ観察を通して学習した知識を個人またはグループで発表する。さらに、スペクテータースポーツとしての観点から自身の専門種目における問題点を抽出し、その解決策について他者と議論を行うことができる（E 1, F 2, G 1）。 ③予習（120分） 自身のグループの発表内容を再確認し、質問への対応を考えておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、質問された内容を整理しておく。
12	①授業テーマ 発表 2 ②授業概要 スポーツ観察を通して学習した知識を個人またはグループで発表する。さらに、スペクテータースポーツとしての観点から自身の専門種目における問題点を抽出し、その解決策について他者と議論を行うことができる（E 1, F 2, G 1）。 ③予習（120分） 自身のグループの発表内容を再確認し、質問への対応を考えておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、質問された内容を整理しておく。
13	①授業テーマ 発表 3 ②授業概要 スポーツ観察を通して学習した知識を個人またはグループで発表する。さらに、スペクテータースポーツとしての観点から自身の専門種目における問題点を抽出し、その解決策について他者と議論を行うことができる（E 1, F 2, G 1）。 ③予習（120分） 自身のグループの発表内容を再確認し、質問への対応を考えておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り、質問された内容を整理しておく。
14	①授業テーマ 総括と授業内レポート ②授業概要 これまでに学習したことを整理し全体的な総括を行うとともに、授業内レポートを実施する（E 1, F 1, F 2, G 1）。 ③予習（120分） 発表や質疑応答から得られた知識を振り返り、整理しておく。 ④復習（120分） 授業内レポートへの記述内容について考察しておく。
15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 スペクテータースポーツとしての観点から抽出した自身の専門種目における問題点とその解決策について整理し、スポーツ観察演習Ⅳのまとめを行うとともに、授業内レポートの解説を実施する（E 1, F 1, F 2, G 1）。 ③予習（120分） これまでの学習内容を振り返り、整理しておく。

	④復習（120分） これまでに学習した知識を将来、自身のスポーツ実践の場で活用できるよう整理しておく。
関連科目	スポーツ観察演習Ⅰ（SSCS1311）、スポーツ観察演習Ⅱ（SSCS1312）、スポーツ観察演Ⅲ（SSCS2324）、スポーツとメディア（SSCS3305）
教科書	ありません。
参考書・参考URL	ありません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.